



令和 7 年度
広島県高等学校 PTA 連合会
広島県大会
楽しむ♪～PTAを楽しんでクレ



広島県立呉三津田高等学校美術部



呉信用金庫ホール (呉市文化ホール)

広島県呉市中央3丁目10番1号

2025年10月19日(日) 13:30～17:00

(受付・開場 12:30～)

主催 / 広島県高等学校PTA連合会
共催 / 呉市教育委員会
主管 / 呉地区高等学校PTA連合会
後援 / 広島県教育委員会・呉市
江田島市・江田島市教育委員会

WELCOME TO KURE

～ようこそ呉へ～

呉市公式キャラクター

呉氏



明治 35 (1902) 年、呉鎮守府（くれちんじゅふ）や呉海軍工廠（にうしょう）をもつ呉軍港の発展をめざし4町村が一つとなり誕生した「呉市」を徹底的にアピールするためだけに生まれてきたキャラクター。顔が、名前が、そのまま市名になっている。

背中にも読みの「クレ」を背負って、しつこいくらい「呉」をアピール。

瀬戸内海の海のように爽やかなターコイズブルーの体をしており、市内のイベントや SNS で精力的に呉市の魅力を PR してる。

性格：瀬戸内海のように穏やかで「クレ」バーな一方で、何にでもすぐに熱中する良い意味での熱い「クレ」イジーさも併せ持っている。「クレ」ームには弱いとか…

性別：男の子

誕生日：いつぞやの海の日

好きな食べ物：肉じゃが、呉海自カレー、呉冷麺

好きな曲：CRAZY GONNA CRAZY

特技：キレキレのダンス

Program

12:30～	受付開始・開場
13:30	開会
13:30～13:40	アトラクション part1 音戸の舟唄（広島県立音戸高等学校）
13:55～14:25	開会行事 ・開会宣言 広島県高等学校PTA連合会 呉地区PTA連合会 初会長 高橋 理 歌 ・国歌斉唱 ・歓迎挨拶 広島県高等学校PTA連合会 実行委員長 池田 寿 生 ・主催者挨拶 広島県高等学校PTA連合会 会 長 藤 原 みどり ・来賓祝辞 広島県教育委員会 教育長 榊田 智 志 - 呉市 市 長 新 原 芳 明 - 広島県公立高等学校校長協会 会 長 國 藤 生 美 ・来賓紹介 ・祝電披露
14:35～14:55	PTA 活動紹介 / 事例発表 テーマ「どうしよう？は、行動（どう）しよう！」 発表者 / 広島県立安芸南高等学校 PTA 顧問 二宮 仁さん
14:55～15:15	～ 休 憩 ～
15:15～15:30	アトラクション part2 ブラスバンド部演奏（呉港高等学校） 呉市歌合唱（呉地区各校運動部員）
15:45～16:25	パネルディスカッション テーマ 「父さん、母さんちょっとええかね？」 大窪シゲキさん ～呉地区の生徒たちが本音・本気でディスカッション～ 森本久美子さん
16:35～17:00	閉会行事 ・閉会挨拶 広島県高等学校PTA連合会 広島県大会呉地区 副実行委員長 石 地 勝 敏 ・次回開催地区発表 ・閉会宣言 広島県高等学校PTA連合会 呉地区PTA連合会 会長 土 居 由 人

Information

エントランスロビー・ホワイエにて展示（呉工業・大楠）
 生徒やPTAによる販売（呉商業・音戸・呉三津田・南特支）もあります

ご挨拶

広島県高等学校PTA連合会

会長 藤原 みどり

本日は令和7年度広島県高等学校PTA連合会広島県大会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。開催にあたり共催を賜りました呉市教育委員会、主管地区であります呉地区高等学校PTA連合会、後援を賜りました広島県教育委員会、呉市、江田島市、江田島市教育委員会をはじめ、ご協力いただきました関係各位の皆さまに感謝申し上げます。

デジタル社会が急速化し、PTAを取り巻く環境は常に変化しています。いまネットやSNSにはあふれる情報、切り取られた情報に惑わされ、過度な自己表現や論破したものが称賛されています。問題があった時には自分事としてとらえ、どうすれば解決する糸口を見つけていけるだろうか、もっと寄り添いの気持ちを我々大人も付けていかなければなりません。

今大会のテーマ・サブテーマは「楽しむ♪～PTAを楽しんでクレ～」です。PTA活動は子どもたちのために尽力することはいうまでもありません。それと同時に我々が生き生きと活動することは、その背中をみている子どもたちの健全育成に結果繋がります。今日の様に一堂に会し、自分の目で見て、課題を共有し、共に学ぶことで問題解決のヒントがもらえます。

最後になりましたが、これまで準備をすすめていただきました呉地区実行委員会の皆様、ご協力いただきました皆様に感謝を申し上げ、今日お集りの皆様にとって実りある研修となりますとともに、会員の皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、ご挨拶といたします。本日はよろしくお願いいたします。



歓迎のことば

広島県高等学校PTA連合会

広島県大会実行委員長 池田 寿生

ようこそ呉地区へ。

本日は令和7年度広島県高等学校PTA連合会広島県大会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

県内各地よりご来場いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。

呉は、古くから海軍・造船のまちとして発展し、現在は大和ミュージアムや海上自衛隊資料館などでその歴史を感じられるとともに、美しい瀬戸内海と温かい人情に恵まれた地域です。地域の皆さまの支え合いの中で、学校・家庭・社会が一体となり、子どもたちを育んできました。そして今年の大会テーマは――

「楽しむ♪～PTAを楽しんでクレ」

PTA活動というと、つい「大変そう」「時間が取られる」といったイメージを抱かれがちです。

しかし、仲間とつながり合い、知恵を出し合い、時には笑い合いながら活動することで、自分自身の学びや喜びにつながることを、私たちは経験してきました。子どもたちのために集うこの場が、皆さまにとっても“楽しめるPTA”を実感いただける機会となれば幸いです。

この呉の地で、皆さまと共に学び、語り合い、そして笑顔で過ごせる一日となりますよう、実行委員会一同心より願っております。本日はどうぞ最後まで大会をお楽しみください。



開催趣旨



テーマ

楽しむ月～PTAを楽しんでくれ

趣旨

呉地区高等学校PTA連合会は、「公立と私立学校が一緒にPTA活動を行う」という点で全国的に珍しい組織です。

今大会も学校の枠を超え、共に学び、協力し、地域の魅力を発信できる場を創出します。

呉市歌大合唱や伝統行事を折りこみ、失敗を恐れず、これまでにない新しいやり方を取り入れ、大会参加者全員が楽しむことができる大会を開催します。

主催／広島県高等学校PTA連合会

共催／呉市教育委員会

主管／呉地区高等学校PTA連合会

後援／広島県教育委員会・呉市

江田島市・江田島市教育委員会

日時／2025年10月19日(日)13:30～17:00
(受付・開場12:30～)

場所／呉信用金庫ホール(呉市文化ホール)

音戸の舟唄とは

日本三大舟唄の一つに数えられ、「船頭かわいや音戸の瀬戸で一丈五尺の艀がしわる」の名文句で始まる『音戸の舟唄』。

平清盛が切り開いた伝説が残る音戸の瀬戸は、呉市本土と倉橋島の海峡であり、急流を切って進む仕事のつらさを唄に乗せ和らげる「しごとうた」として、手漕ぎ船で渡る船頭や漁師達に唄い継がれ、現在では全国に誇る呉市の無形文化財となっています。

音戸の舟唄保存会の取り組みについて

昭和30年代、音戸町出身の高山訓昌氏によって節回しがまとめられ、今日の『音戸の舟唄』となった。この唄を伝承しようとした高山氏は、昭和39年「音戸の舟唄保存会」を設立し、初代会長として自宅や公民館、小学校でも後進の指導に努めた。

高山氏の死後、その意思を継いで平成15年に約60人で「音戸の舟唄保存会」が再結成され、三つの教室を主宰し、町内外の生徒を指導し、世代を越えた交流と共に伝統芸能の継承に努めている。

本日は、『音戸の舟唄』を音戸高校1・2年生が合唱する。その後、独唱いただく音戸高校卒業生 松崎瀬音夏さんは、在学中、第13回 音戸の舟唄全国大会にて、審査員特別賞を受賞。今でも伝統芸能の継承に貢献している。



「音戸の舟唄」歌詞

ヤーレー船頭かわいや 音戸の瀬戸でヨー

一丈五尺のヤーレーノ 艀がしわるヨー

ヤーレー泣いてくれるな 出船の時はヨー

沖でろかいのヤーレーノ 手がしふるヨー

ヤーレー浮いたかめの 夫婦の中をヨー

情知らずのヤーレーノ 伝馬船ヨー

(せりふ) おつとんどこな 音戸の瀬戸ヨ

たこでもおるかい

いやーいかばかりヨー

ヤーレー船頭かわいと 沖ゆく船にヨー

瀬戸のあの娘のヤーレーノ 袖ゆらすヨー

ヤーレーあれが一家か かめの群はヨー

今夜何処のヤーレーノ 波間やらヨー

ヤーレーこは音戸の瀬戸 清盛塚のヨー

岩に渦潮ドントヤーレーノ ぶち当たるヨー



MEMO



PTA活動紹介 事例発表



発表者 広島県立安芸南高等学校 PTA 顧問 二宮 仁さん

■PTA組織/コロナ禍を機に行ったPTAの働き方改革

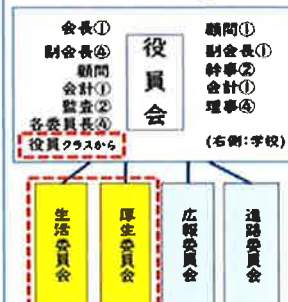
昭和61年（1986年）開校の比較的历史の浅い学校で、同年、PTAを結成しています。

本校PTAの主な会は5月の総会、定期的な役員会、常任理事会があり、以下の委員会で活動。

- ・生活委員会：生徒の健全育成を目指して活動
- ・厚生委員会：制服等の回収を行い、リサイクルされた制服等を販売
- ・広報委員会：PTA新聞を年2回（7月、3月）発行
- ・進路委員会：学校と連携した進路説明会や大学見学会の実施など、子どもの進路について保護者が知るための、行事の計画・実施をしている。

※現在は統合
生活・厚生委員会

PTA運営機構図



コロナ禍を機に行ったPTAの働き方改革は、生活/厚生委員会を統合し3つの委員会へ。

また、クラス役員2名から、希望者による学年役員へ規約を改定し、より自主的な組織での運営へ改革。

■PTAのイメージ

「PTA」にどんなイメージをお持ちでしょうか？ 疲れる、面倒くさい、ヤバイ…。難しそうなイメージもあると思います。

「難」という漢字を用いて表現すると、「災難」、「苦難」、そして「困難」などなど。そんな難しいこと無い方がいい。

「無難」を選ぶこともできます。しかし、無難を選択するのはもったいないと感じませんか？

視点を変えてみましょう。「難しいことが有る」から漢字を拾うと「有難う」つまり「感謝」と捉えることもできます。

大変なこともありますが、それは自分自身を前向きな気持ちに「大」きく「変」えるチャンスかも知れません。

同じ想いを抱いている仲間、みんながいるから頑張れる！ みんながいるから楽しめる！

オトナが挑戦している姿を、子どもたちはきっと見ているはずだ。

PTA活動を通じて、子どもたちが輝くために「一緒に懸命」共に磨き上げていきませんか？

できるときに、できることを、できるひとで。「PTA」ぱっと、楽しく、集まろう！！

有 or 無
難
↓
感謝

■活動事例/キーワード：「できない。」という言葉忘れ、「どうすればできるか？」みんなで考えよう！

1) 生徒からの提案を実現

①コロナ禍の文化発表会：「映画をつくりたい！」

映画は作りたいが、どうやって作れば良いのか分からない…。

⇒HFM 9 ジラジの大窪シゲキさんへサポート依頼/大人は繋ぐ・支援のみ



当日は、オオクボックスの進行で舞台挨拶風の演出も！

②「イルミネーション」でみんなを元気にしたい！

総合的な探究の時間でのプレゼン（他の生徒へ波及）

⇒校長・教頭・事務長の審査に合格/PTA支援で実現



地域の方も招待し点灯式（中国新聞掲載）

2) 先生方からの提案を実現

①特色ある学校へ「職業人の話を聞く会」を開催したい

保護者・OB・繋がり10名集められないか？（1年生対象）

⇒声を掛けてみると、13名の方が快く引き受けてくださり実現

⇒生徒配布用資料作成のため、PTAはアンケートの集約なども協力



全大会は体育館で1時間



希望する業種ごとに30分

②「安芸南PRポスター」を市町に掲示したい

「坂町」で相談開始。初回版はダメ出しもリベンジ成功

⇒美術の先生にも協力いただき、1市3町で掲示！



先生方/地域の役員さんで定期的に貼り替え



3) PTA現役/OBからの提案で実現

①置き勉を可能に…。教室に「ロッカー」を設置したい

教室に設置は狭くなる/廊下は消防法を遵守できない（2年間検討）
⇒机が通常より4cm大きいことが判明。小型の特注ロッカーで解決



教室の後ろに、扉なしのロッカー設置

先生方/調査協力

②冬の夕方、通路が暗く「屋外照明」を設置したい

LED照明設置時に近隣住宅が眩しくない角度で配慮
⇒グラウンドも明るくなり、冬期の部活も安全に！



校舎屋上から駐車場/グラウンドを明るくできた

4) 沢山のおかげ様/繋がりで実現

①合唱コン「君に捧げる応援歌」で生徒にエールを贈りたい

PTA合唱部を結成。外部講師を先生に練習会を音楽室で3回実施
⇒ホームテレビの協力でHIPPYのサプライズ出演。口に+で夢叶う！



伝える

繋がる

②吹奏楽部「自分達が」みんなを元気にしたい

コロナ禍の演奏会。最後の曲は「君に捧げる応援歌」
⇒映像をHIPPYに見てもらって、お礼を伝えたい！



③吹奏楽部「卒団までにHIPPYとコラボしたい」

コロナ禍の文化発表会。緊急事態宣言下での開催
⇒打楽器のみの演奏に形は代わったが実現（YouTubeにアップ）



「君に捧げる応援歌」安芸南高校BAND_Ver

支え愛

④コロナ禍の「文化発表会」生徒のために開催したい

上野学園ホールで保護者も観覧の計画は実現せず
⇒体育館に場所を代え、午前/午後の2部制で実現



午前/午後の入替時に消毒もバッチリ（PTA）

■情報交換会でマネぶ（学ぶ）：ヒントを持ち帰り、各学校で味付けしながら実現

・卒業証書/特大版でのフォトスポットを学び、役員会で提案。次年度に向けて、検討/準備して行くことで承認

⇒卒業証書版をマネび、モニュメントも設置（分散）。入学式バージョンは、3年後の卒業版と成長具合を確認できるよう味付け！



マネぶ：卒業証書



校長先生の提案も採用



入学バージョン：3年後が楽しみ



行列ができるフォトスポット

最後まで確認いただき心から感謝です。行動のきっかけになれば幸いです。共に楽しみましょう！

アトラクション part2

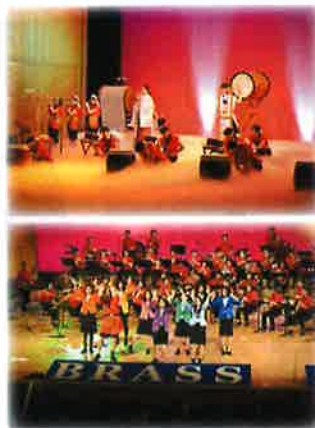
呉港高等学校 ブラスバンド部

呉武田学園呉港高等学校は、1818年（文政元年）に山口県、現在の岩国市玖珂町の武田家邸内で稽古屋敷として開設され、その後、大正6年に呉市に移転し現在に至っています。

全国的にも数少ない歴史の古い学校ですが、その長い伝統を持つ本校の中でブラスバンド部は、2002年創部というまだまだ歴史の浅いクラブです。現在部員は41名。「音楽は心」をモットーに、吹奏楽の枠にとらわれず、呉港クワイアとして合唱との二刀流に取り組むなど精力的に活動をしており、これまで、吹奏楽や合唱の各種大会で中国大会や全国大会に出場するなど多くの実績を残しています。特に昨年度はベルリンフィル・ストリングスとの共演やアンサンブルコンテスト中国大会にクラリネット八重奏が出演、合唱では声楽アンサンブルコンテスト全国大会に8位入賞するなど各方面で高い評価をいただくことができました。



3月26日（水）、呉信用金庫ホールにて、第20回呉港高等学校ブラスバンド部定期演奏会が開催されました。伝統の3部構成からなる演奏会。第1部はクラシカルステージ。第2部はスペシャルステージ。第3部は毎年大人気のジョイフルステージ。ステージと客席が一体となり、みんな全身で音楽の楽しさに浸りました。



第1部はクラシカルステージ。
第2部はスペシャルステージ。
第3部は毎年大人気のジョイフルステージ。
ステージと客席が一体となり、みんな全身で音楽の楽しさに浸りました。



【第48回広島県アンサンブルコンテスト】
打楽器三重奏 金賞・管打八重奏 金賞・クラリネット八重奏 金賞
【48回全日本アンサンブルコンテスト中国大会】
クラリネット八重奏 銀賞
【第19回ヴォーカルアンサンブルコンテスト in ひろしま】
グランプリ・優秀賞



～年間スケジュール～

4月	呉みなと祭	10月	広島県高校総合文化祭（吹奏楽 合唱）
5月	呉地区高等学校連合音楽会	11月	中国高校吹奏楽まつり
8月	サマーコンサート in ゆたかまち 広島県吹奏楽コンクール	12月	広島県アンサンブルコンテスト
	NHK 全国学校音楽コンクール広島県大会	3月	定期演奏会（呉市文化ホール）

パネルディスカッション

テーマ

『父さん、母さんちょっとええかね?』

～呉地区の生徒たちが本音・本気でディスカッション～

M C **大窪 シゲキ** さん

オオクボ シゲキ



1979 年生まれ大阪府出身。

2007 年から広島エフエムの 10 代応援番組「大窪シゲキの 9 ジラジ」でラジオ DJ を担当。日々若者と語り合い、朝日新聞にも毎週コラムを掲載。

2015 年に広島県消費者トラブル防止 DJ 大使に就任して内閣府特命担当大臣表彰者に。テレビやイベント司会や講演会などラジオを飛び出し様々なジャンルで小中高生を全力で応援中。2025 年に第 62 回ギャラクシー賞ラジオ部門 DJ パーソナリティ賞 受賞。



M C **森本 久美子** さん

モリモト クミコ

広島県呉市出身。呉三津田高校を卒業後、大学へ進学。

2000 年よりテレビ番組『ひろしま満点ママ!!』のレポーターとして活動を開始し、今年で 25 年目を迎える。テレビレポーターのほか、ラジオ・MC やナレーションなど、メディアを通じた幅広い発信に携わってきました。

『満点ママ』では、県内各地をめぐる「ふれあい旅」を 19 年にわたり担当。地域の人々との出会いや対話を通して、広島の魅力・風景・伝統文化を伝えてきた。

コーナーでは、学生の皆さんが「こんな仕事もあるんだ」「こんな大人の生き方も素敵だな」と感じられるような大人を紹介しており、多様な価値観に出会えますし、生まれ育った広島を誇りに思えるような魅力をお届けしています。

2024 年からは『くれ観光特使』としても活動中。



呉地区学校紹介



広島県立広島高等学校



広島県立呉工業高等学校



呉市立呉高等学校



広島県立呉宮原高等学校



広島県立呉商業高等学校



私立清水ヶ丘高等学校



広島県立呉三津田高等学校



広島県立呉南特別支援学校



呉青山中学・高等学校



広島県立音戸高等学校



広島県立呉特別支援学校



学校法人呉武田学園
武田中学校 武田高等学校



広島県立大柿高等学校



広島県立呉特別支援学校江能分級



学校法人呉武田学園 呉港高等学校



広島県立広高等学校

〒737-0141 広島県呉市広大新開3丁目6番44号
<https://www.hiro-h.hiroshima-c.ed.jp>



学校紹介

昭和17年開校の広島県立呉第三中学校と昭和18年開校の呉第二高等女学校を前身とした全日制普通科高校です。(定時制は令和3年度末をもって閉課)「[今]を生きる・[広]に生きる」をキャッチフレーズに、自ら学びを拓く「新しい文武両道」の実践で『未来を拓く人材の育成』を目指しています。地域に支えられながら歩み続け、国内外の様々な分野で活躍する多くの優れた人材を輩出しています。

PTA紹介

本校PTAは、本部役員理事と各学年学級理事が、「無理なく、出来るときに、出来る人が、出来ることを」をモットーに、生徒の笑顔のために活動しています。

役員理事会では様々なことを話し合い、先生方と保護者が協力して、生徒・学校のために意見を出し合っています。

体育祭や広高祭へも参加し、一緒になって学校を盛り上げ、PTAも楽しみながら活動しています。

PTA活動

- ・PTA新聞発行(年2回)
- ・あいさつ運動
- ・体育祭参加
- ・広高祭出店

体育祭

今年度はオークアリーナで実施しました。素晴らしい団結力を見せてくれました。



修学旅行



毎年10月に実施し、小樽や札幌での自主研修、ラフティングやインドア体験を行い北海道を満喫しました。

部活動

全ての部活動で高い目標に向かって、仲間と共に切磋琢磨しながら、日々勉強と部活動を頑張っています。



本校は、自ら学びを拓く「新しい文武両道」への挑戦を教育目標に掲げています。チャレンジを支える教育及びタフさを鍛える教育を軸に、自らの可能性を広げる学びを充実させています。進学実績は、令和7年度194名の卒業生のなかで九州大学(1名)、広島大学(5名)など国立大学現役合格者は56名でした。私立大学も同志社大学、広島修道大学をはじめ県内外へ多くの生徒が進学しています。放課後や休日・長期休業中の補習や家庭学習を充実させる通信教材等、一人一人に応じた丁寧な個別指導を通して確実に力をつけることができます。MRC(マジカルルーム)という名前の自習室も完備しています。

勉学に励む一方、部活動にも懸命に取り組み、また校外活動にも力を入れる生徒が多数です。本校には学びをサポートするだけでなく、新しい文武両道に仲間と挑戦しようとする、またその挑戦を後押しするサポート体制が充実しています。挑戦することで育んだ力が進学に際し、大きく役立っています。

その他、令和4年度から体操服のデザインを変更しました。スタイリッシュなデザインで生徒にも好評で、ロゴマークは生徒自身が考案したロゴマークを採用しています。さらに令和7年度から本校ホームページをリニューアルしました。ぜひご覧ください。



広島県立呉宮原高等学校



〒737-0024 呉市宮原三丁目1番1号

<https://www.kuremiyahara-h.hiroshima-c.ed.jp>

学校紹介

本校は、大正13年に母体である呉市立中学校が開校し、昨年11月に創立100周年記念式典を実施しました。歴史と伝統がある呉宮原高等学校は明るく伸びやかな校風のもと、今年度から「自己効力感を高める」ことを教育目標として、「自律」・「挑戦」・「貢献」することができる生徒の育成を目指して、教育活動に取り組んでいます。

PTA 紹介

本校 PTA は、昭和24（1949）年度に設立されて以来、学校行事のサポートをはじめ生徒達の教育環境向上のため尽力してまいりました。活動開始より約75年間、戦後復興、経済の変動、社会の価値観変化等、数多くの変遷をたどりながらも、「楽しく・緩く・時々ちょっとだけ真面目」をモットーに今もなお生徒達の健全な成長を支えるために明るく活動を重ねています。

その活動において特筆すべきは何と言っても食堂の経営です。呉市内の県立高校で食堂があるのは唯一本校だけです。しかも業者主体ではなく、食堂スタッフ、メニュー内容、値段設定等、その経営の殆どを PTA 主体で運営をしている全国的にも非常に希有な学校食堂です。また、食堂利用していただければ、例え様々な PTA 活動に参加できなくとも、PTA 主体の食堂なので、それはもう立派な PTA 活動だと謳い、強制なく全員参加を可能にしている PTA であるともいえます。

今後も何はともあれ「楽しく♪」を大前提に全員で活動を続けてまいります。



昨年度部活動の活躍

全国大会出場 ダンス部、アーチェリー部

中国大会出場 ダンス部、陸上競技部、ソフトテニス部、アーチェリー部、弓道部、少林寺拳法（個人）

今年度部活動の活躍

全国高等学校総合体育大会に アーチェリー部が出場します。

本校には、呉地区の県立高校では唯一学食があります

第1位 カツカレー

第2位 担々麺

第3位 豚骨醤油ラーメン

売店でのワッフル、チキンカツ弁当も人気メニューです。

うどんは、昆布からだしをとるなど、愛情たっぷりのこだわりメニューが揃っています！





広島県立呉三津田高等学校

〒737-0814 呉市山手一丁目5番1号

<https://www.kuremitsuta-h.hiroshima-c.ed.jp/top/index.html>



【学校紹介】

「呉から世界へ、世界から呉へ。」

本校は、明治40年に呉市立呉中学校として創設され、明治44年に県に移管後、昭和4年には広島県立呉第一中学校と改称し、昭和24年に広島県立呉三津田高等学校、昭和43年に広島県立呉三津田高等学校となり、今年で創立119年目を迎える歴史と伝統を誇る学校です。大学進学実績だけでなく、中国大会、全国大会に出場する部活動もあり、何事にも生徒が「本気」で取り組む雰囲気のある学校です。

【PTA 紹介】

- ・呉三津田高校三大行事のうち、春の大運動会と秋の三津田祭でPTAが出店し、飲料水の他トートバッグやタオルなどのオリジナルグッズを販売しています。また、売上を生徒会に寄附し活動に役立てています。
- ・活動の中心となる執行部の人数が15人(R7年度)で、そのうち10人が副会長として何らかの役割を受け持ち、一人一人の負担を軽減しながら運営していくスタイルを続けています。
- ・加えて、各クラス役員を広報担当と健全育成担当に分けて学年ごとの連携委員を置いて組織を構成しています。



【令和6年度部活動実績】

【中国大会】

放送部 アナウンス部門 (優勝・2位)
ビデオメッセージ部門 (優勝)
オーディオメッセージ部門 (優勝)

陸上競技部 男子800m(優勝) 男子400m(2位)

【全国大会】

放送部 テレビドキュメント部門 (優秀賞)

陸上競技部 男子800m(出場)



※ 令和7年度は、剣道部が中国大会出場。放送部、陸上競技部は夏に開催された全国大会に出場。



広島県立音戸高等学校

〒737-0024 呉市音戸町北隠渡一丁目1番1号

<https://www.ondo-h.hiroshima-c.ed.jp>



学校紹介

「行う 考える これを日々年々積み重ねる」

本校は、「音戸の瀬戸の美しい環境の下で、地域について学び、故郷の期待と信頼に応え、社会に貢献できる人材」の育成を目指しています。キャッチコピーは「小さいからこそできる」。小規模校の強みを生かし一人一人の進路希望に対応した、きめ細かい指導を行っています。卒業生は公立大学をはじめとする四年制大学等へ進学したり、地元の有力企業へ就職したりして多様な進路を実現しています。地域に密着した学校として、のんびりのびのび生徒が育つ学校です。

PTA紹介

本校は、全校生徒が62名のため、保護者も少人数ですが、学校の行事や地域連携に精力的に関わるようにしています。

委員会組織は、広報委員会と健全育成委員会の2つで構成されています。広報委員会は年2回のPTA新聞「虹の架橋」の発行を、健全育成委員会は、年3回の挨拶運動を実施しています。

毎年、11月に行われる文化祭は、音戸フェスティバル&マルシェと合同で開催されていて、活動をサポートしています。

2月に行われる音戸一周駅伝では、生徒の力走を支援しながら、大会運営にボランティアとして関わっています。

「小さいからこそできる」学校で、生徒も保護者も先生方も、アットホームな雰囲気の中で絆を深めています。



挨拶運動



音戸高校文化祭

音戸一周駅伝

in
音戸フェスティバル&マルシェ

本校のPTA総会は、毎年5月に開催されます。令和5年度から毎年、総会と同じ日に広島FM「9ジラジ」でお馴染みの、大窪シゲキさんをお招きして講演会を行っています。生徒の心に寄り添う大窪さんのトークは、保護者が聴いても勉強になることがたくさんあります。講演会后、毎年のように音戸高校の生徒と先生が「9ジラジ」でDJをさせていただき、音戸高校のPRをさせてもらっています。



PTA役員と大窪さん



全員で記念撮影



令和7年度PTA役員



広島県立大柿高等学校

〒737-2213 江田島市大柿町大原1118-1

<https://www.ogaki-h.hiroshima-c.ed.jp>



学校紹介

「目が届く、手が届く、心が届く、島の学校」

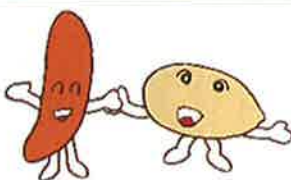
大柿高校は、今年度で開校 85 年を迎えました。進取の気風に富み、素晴らしい人材を輩出してきた歴史と伝統のある学校です。また、広島県高等学校カヌー（男女）競技力向上拠点校として 4 年目を迎え、8 年連続インターハイ、2 年連続国民スポーツ大会に出場し、入賞するなど、カヌー強豪校としても進化しています。

「克己」という校訓のもと、江田島市内唯一の高等学校として、地域から信頼され応援される学校として存続すること、江田島市の将来を担うことのできる人材を育成することを教育目標に、生徒一人一人に応じた地域に根差し信頼される学校づくりを目指しています。

江田島市からも、通学バス定期に対する補助・公営塾に対する補助・台湾修学旅行に対する補助など、多くの支援をいただいております。

PTA の紹介

柿高PTAキャラクター
2 代目ザ☆柿ピーズ



（ 役 員 ）

顧問・会長・副会長・監査

委員 生徒指導委員

挨拶運動など

広報委員

PTA新聞「陀峯」の発行など

（ 事業内容 ）

総会・役員会・各委員会

体育祭のサポート（受付・駐車場係）

柿高祭のサポート（食品バザー出店）など



○カヌー部の活躍 8 年連続インターハイ出場

・ R 7 年度 インターハイ 女子カヌーペア・カヤックシングル 男子カデ インフオー・カデ インペア出場

・ R 6 年度 インターハイ 女子カヌーペア **5 位入賞** 女子カヤックシングル **7 位入賞**

国民スポーツ大会 女子カヤックシングル **5 位入賞**

日本代表選考会 Jr 兼府中湖カヌーレガッタ 女子カヤックシングル **2 位入賞**

○大柿高校のサポートチーム「柿高Fly」からの温かい支援

・ 週に一回「柿高弁当」の注文販売

出来立てのお弁当を食べられる

・ 月に一回「差し入れ交流会」

おにぎりなどをいただきながら

こども・高校生・大人が交流





広島県立呉工業高等学校

〒737-0001 呉市阿賀北二丁目10番1号
<https://www.kure-th.hiroshima-c.ed.jp>



学校紹介

本校は、昭和14年に創立し、その後、85年の歴史の中で時代に沿う形で変遷してまいりました。現在、全日制課程には機械・材料工学科、電気・電子機械科、定時制課程においては機械科、電気科、キャリアデザイン科を有する学校となりました。卒業生は2万2千名を超え、地域社会の発展に貢献し、国内は勿論のこと広く国際社会においても活躍する人材を数多く輩出しております。

PTA紹介

呉工業 PTA活動

本部役員

役割

活動内容

会長

全国 中四国 広島県大会の参加

副会長(2名)

役員会の開催

会計

クラスマッチ飲み物支援

会計監査(2名)

主な委員会

企画委員会

広報委員会

生活指導委員

呉工業(11月)

くれこう新聞の発行

あいさつ運動の参加

バザーの出店

新聞発行のため写真撮影

(年5回・登校時)

リサイクル制服販売

年度初めに分組を決定

年度初めに分組を決定

生活指導委員会の出席

その他 クリーン活動(5月・10月)



令和7年度の活躍

【電気・電子機械研究部】

広島県高校生ものづくり競技大会【電気工事の部】優勝&準優勝
中国大会へ出場(2名)、若年者ものづくり大会へ出場(1名)

【弓道部】

令和7年度広島県高等学校総合体育大会 近的競技女子個人第8位
令和7年度広島県高等学校総合体育大会 遠的競技女子個人第5位 など



広島県立呉商業高等学校

〒737-0112 呉市広古新開四丁目 1 番 1 号
<https://www.kure-ch.hiroshima-c.ed.jp/>



学校紹介

昭和 32 年に開校し来年度、創立 70 周年を迎えます。「誠実」「勤労」「叡智」の校訓のもと、「多面的・多角的に見て考えて、世に活かす」という教育目標を掲げ、主体的・協働的な学びを通して、ビジネス界を中心に、社会の発展に貢献できる生徒を育てる教育を推進しています。

PTA 紹介

呉商 PTA は総務部(執行部)、生活委員会、調査広報委員会があり、「できる時にできる事をみんなで楽しく！」をモットーに、無理なく参加できるスタイルを大切にしています。

学校行事では広報撮影や運営補助を通じて、生徒たちの活躍を間近で見守り、応援できるのも大きな魅力の一つで、やりがいのある活動です。

PTA 活動

生活委員会・・・あいさつ運動

調査広報委員会・・・PTA 新聞 (年 2 回)



第2回PTA理事会の様子



野球部の選手・保護者による広大なひまわり畑です！



広島県立呉南特別支援学校

〒737-0003 呉市阿賀中央5丁目13番71号
<http://www.kureminami-sd.hiroshima-c.ed.jp>



学校紹介

本校は、平成27年度に聴覚障害教育と知的障害教育に対応した特別支援学校として開校しました。昨年度創立10周年を迎えました。聴覚障害部門は、昭和25年4月に、本校の前身である聴覚障害児のための障害児学級が呉市立片山小学校に設置されてから70年以上の歴史があります。

PTA紹介

執行部

会長 副会長
教養部長 教養部副部長
広報部長 広報部副部長
書記 会計 監事

学年代表

教養部

- ・保護者研修会
- ・PTA活動広報

広報部

- ・事業所見学
- ・学校活動支援

みんなで力を合わせて
やってま〜す!



学校情報広報誌「くれみなみっけ♪」



<幼児児童生徒たちの活躍!>

- ・全国書初め展覧会
- ・全国障害者スポーツ大会
- ・全国障害者技能競技大会
- ・中国地区ろう学校体育大会
- ・中国地区ろう学校陸上記録会
- ・広島県ことばのかけはしコンクール
- ・広島県特別支援学校美術・工芸展
- ・呉市シビックマーケット
- ・阿賀地区フラワーロード 等



広島県立呉特別支援学校

〒737-0911 呉市焼山北三丁目22番1号
<https://www.kure-sh.hiroshima-c.ed.jp/index.html>



学校紹介

昭和54年に広島県立呉養護学校として開校し、平成19年に広島県立呉特別支援学校に校名を変更しました。校訓「明るく やさしく 元気よく」のもと、「自信をもって、選択・決定することができる児童生徒の育成」を教育目標とし、確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスの取れた児童生徒の育成、障害特性等に応じた個別最適な指導・支援、地域社会との協働における校内で身に付けた知識・技能の発揮に取り組んでいます。

P T A 紹介

呉特別支援学校P T Aは、執行部を中心に文化部、生活部、研修部の専門部で活動しています。役員会を月に1回開催しています。小学部、中学部、高等部それぞれの保護者が情報交換をし、困ったときに相談し、助け合える関係づくりができればと考えています。

主な活動内容

生活部：環境整備（花植え等）、給食試食会

文化部：P T A新聞作成（年2回）

研修部：P T A研修会の実施（年2回）

執行部：役員会の企画運営、学習会の実施
学校行事の際には、駐車場の安全見守り等を行っています。



環境整備の様子



過去のP T A活動の様子を紹介します。



給食試食会の様子

給食を試食し、食育の取組を研修しました。



P T A研修会の様子

進路に係る研修会を実施しました。



広島県立呉特別支援学校江能分級



〒737-2032 広島県江田島市能美町鹿川3406-3
<https://www.kureenou-sh.hiroshima-c.ed.jp/>

学校紹介

江能分級は、昭和54年4月に開校した広島県立呉養護学校の分級として、昭和55年4月に開設された、知的障害のある児童生徒を対象とした学校です。就学区域は、江田島市江田島町・大柿町・沖美町・能美町及び呉市音戸町・倉橋町としています。令和元年度に校訓を「明るく やさしく 元気よく」と決めました。令和7年度は、中学部1名、高等部6名の新生を迎え、小学部9名、中学部3名、高等部10名、合計22名の児童生徒でスタートしました。

呉特別支援学校江能分級は、児童生徒が社会の中でよりよく生きていくために必要な力や習慣を身に付ける場所であり、教育目標を「自信をもって、選択・決定することができる児童生徒の育成」としています。

分級がある江田島市はオリーブ栽培が盛んな地域で、ギリシャ共和国のホストタウンとなっており、分級でもギリシャ大使館との交流を毎年実施しています。また、12本のオリーブの木を児童生徒たちが栽培し、毎年実を収穫しています。絞ったオリーブオイルを毎年江田島市給食センターに寄贈し、江田島市内の小中学校の給食で使用していただくなど、地域の支援を受けながら、交流も行っています。

PTA 紹介

江能分級のPTAは、人数は少ないですが、学校行事や参観日には、多くの保護者が駆け付け、学校や子供たちを応援しています。

運動会や文化祭、ギリシャ大使館との交流などの行事でも、積極的に係の仕事をして、行事を盛り上げています。

自然に囲まれた学校なので、毎年、自主的に草刈りなどの環境整備を企画し、学校のために、子供たちのために活動しています。

参観日には毎回、役員だけでなくだれでも参加できる保護者会を行い、保護者同士の交流も図っています。

昨年度は、初めて呉特別支援学校の本校のPTAと互いの学校を訪問し合い、交流を図りました。





呉市立呉高等学校

〒737-0003 呉市阿賀中央5丁目13-56
<https://www.city.kure.lg.jp/site/kurehighschool/>



【学校紹介】

本校は、呉市立唯一の高校で、呉・東広島地域唯一の総合学科校です。「産業社会と人間」(1年次)ではライフプランを作成し、「総合的な探究の時間」(2年次「フロンティアⅠ」、3年次「フロンティアⅡ」)では課題解決スキルを身に付け、3年次生全員が卒業論文を仕上げる中で、自己の適性を理解し、将来の自己の在り方生き方を考え、持続可能な地域社会の構築を目指す「地域課題解決型キャリア教育」を展開しています。

【PTA紹介】

活動目的

健全育成部・会員交流部・文化部で構成し活動しています。生徒の心身の健全な発達と福祉の増進及び本学の教育設備の改善向上を図ることを目的としています。

活動内容

健全育成部…年4回、生徒・先生と一緒に挨拶運動をしています。

会員交流部…年2回、レク&懇親会で多くの先生方と交流を深めています。

文化部…市呉祭(文化祭)で模擬店を担当します。
PTA 特製カレー販売と喫茶店を行います。

挨拶運動



市呉祭(文化祭)



体育祭(PTA競技)



会員交流
(ソフトバレーボール大会・ボーリング大会)



【進路実績】

総合学科の特長として、様々な進路に対応。傾向としては、4年制大学約6割、短大約1割、医療系専門学校約1割、それ以外の専門学校約1割、就職約1割。
令和6年度の合格者数は、国公立大学9名、私立大学81名、短大15名、専門学校38名、就職7名。

【部活動】

全国大会 硬式野球部(甲子園2回)、陸上競技部(インターハイ常連)

吹奏楽部(全国高総文祭)、弓道部(全国選抜大会)、競技かるた部(全国高総文祭)

中国大会 他の部も含め多数出場



私立清水ヶ丘高等学校

〒737-0023 広島県呉市青山町2番1号
<https://www.shimizugaoka.ed.jp/>



学校紹介 100年以上の伝統と継承とさらなる挑戦を掲げ「真・美・愛」の校訓のもと心豊かな教養と知性を培い広く社会に貢献しうる有為な人材の育成を目指し教育活動を行っています。普通科・総合ビジネス科・看護科・看護専攻科という多様な進路希望に応えます。また男女共学も7年目を迎え今まで以上に活気があふれ、クラブ活動と学習にと生徒ひとりひとりが真剣に取り組んでいます。立礼・座礼の授業を通して美しい礼儀の所作も身につけています。

教育後援会紹介

- ・広報部・・・年 3回「真清水」を発行
- ・校外指導部・・・呉地区公立高等学校PTA生活指導連合会に参加し、呉市の防犯状況を聞き、生徒指導の先生方と連携します。
- ・厚生部・・・「花の燭祭」の模擬店の開催内容をとりまとめて、当日教育後援会として盛り上げていますまた、私立の特性を生かし協議運営しながら、活動を進めています。



自分の輝きに挑戦
はばたけ! 未来の私

清水ヶ丘高等学校

Challenge!!
Your future





呉青山中学・高等学校

〒737-0823 呉市青山町2番1号
<https://www.kureayama.ed.jp/>



学校紹介

呉青山中学・高等学校は、呉市唯一の中高一貫校として、創立より26年、これまで呉市および周辺地域から進学校としての実績を認められ高い評価をいただけてきました。呉市の中心部に位置し、呉市の文化施設や豊かな自然に囲まれるなど恵まれた環境を活かし、「創意実行」の校訓の下、生徒一人一人が自分らしく、なりたい自分に向かって取り組んでいます。

教育後援会紹介

☆執行部 9名・広報部 13名

教養部 17名

パパママクラブ 20名で活動しています。

☆広報部 年3回広報誌クレイズを発行

☆教養部 8月懇親会開催

懇親会には理事長先生をはじめ教職員・保護者約70名参加してください親睦を深める大切な恒例行事となっています。

☆パパママクラブ

年数回、パパが主体となり学校周辺の清掃活動を行っています。

また各部とともに11月開催の文化祭にて模擬店を出店しています。



清掃活動



パパママクラブ



広報誌25周年記念号



文化祭模擬店



金融教育（早稲田大学）



SDGs 発表会



学校キャラクター
青さん



書道パフォーマンス



百人一首大会



学校法人呉武田学園

武田に学び、世界に羽ばたく

武田中学校 武田高等学校

〒739-2611 東広島市黒瀬町大多田443-5

<https://takeda.ed.jp>



学校紹介

本校は「世界的視野に立つ国際人の育成」を建学の精神とし、1967年に呉市長之木町に中高一貫校の「呉中学 呉高等学校」として開校しました。1990年に東広島市黒瀬町に移転、学校名を「武田中学校 武田高等学校」に改称し現在に至ります。

建学の精神に則り、国際交流はもちろんのこと、地域の団体・企業と連携してSDGsの活動に力を入れて取り組んでいます。そして2026年度からは高校のコースを難関大学を目指すGA（グローバル・アドバンス）コース、分離融合型カリキュラムと体験型探求学習を取り入れたGB（グローバル・ベーシック）コースとリニューアルし、グローバルで幅広い視野を持った生徒の育成を目指します。

教育後援会紹介

本会は「できる人が・できる時間に・できる分だけ」を掲げ、「体育祭」での飲食販売や、「武田祭」では手作りの焼き菓子、レモンスカッシュ、また後援会OBが開催する武田カフェや、おやじの会が主催のゲームは大人気でこれらの収益はすべて寄付しています。年4回の広報は、Web配信にし、オンタイムで発行。またインターナショナルな学校として校内クリスマスイルミネーション設置や門松作りなど季節行事を学校でも楽しんでもらえるよう工夫しています。その他、保護者と先生方との懇親会を開催しています。

自然に囲まれた豊かな環境



体育祭では3団の応援団の舞が圧巻



オーストラリアとの交換留学制度の他、多数の海外の生徒との交流する機会があり生涯の友になることも

2024年・2025年

卓球部 中国大会 男女出場
美術部 まんが甲子園全国大会出場
フラダンス部 ハイスクールコンペティション出場



授業だけでなく生徒達が主体となりSDGs活動をし校外で活躍しています



呉 港 高 等 学 校

〒737-0141 広島県呉市広大新開3丁目3番4号
<https://www.goko.ac.jp/>



呉港高等学校は、普通科・機械科・情報科の三つの学科を有し、それぞれの個性を生かした学びを通じて、生徒一人ひとりの可能性を伸ばしています。普通科では国公立・難関私立大学を目指す特進コース、学業とクラブ活動の両立をしながら幅広い進路を実現する進学コースで基礎的・発展的な学習、機械科ではものづくりの基盤となる専門的技術の習得、情報システム科では情報社会に求められる知識とスキルの修得に取り組んでいます。また、学業とともに部活動も盛んで、生徒たちは学科を越えて友情を育み、互いに切磋琢磨しながら充実した学校生活を送っています。

呉港高等学校の教育後援会は、育成部・広報部・生活部にわかれて活動をしています。活動に制限のあったコロナ禍を経て、従来の活動を行うことができつつあります。おもな活動は体育祭や呉港祭（文化祭）におけるバザーや生徒くじなどを通じて学校行事を盛り上げ、生徒の笑顔と活気あふれる場づくりに努めています。なかでも呉港祭でのくじ引き大会は豪華景品が多数あり、大盛り上がりです。生徒たちの活動や楽しい思い出作りの後押しが出来るように、今年は面白い企画をしています。



呉港高等学校の魅力は、授業や部活動だけではありません。体育祭や文化祭をはじめとする学校行事では、生徒たちが主体となって取り組み、仲間と協力する喜びや達成感を味わっています。ステージでの発表や模擬店、競技での熱戦など、それぞれの場面で生徒の笑顔と活気があふれています。

保護者の皆さまも教育後援会活動を通して行事に参加し、バザーや生徒くじなどを通じて子どもたちと一緒に楽しみ、学校全体を盛り上げています。先生方・生徒・保護者が三位一体となることで、学校生活がより豊かで思い出深いものになっています。これからも温かなつながりを大切にしながら、子どもたちの成長を支えていきます。

海上自衛隊呉史料 (てつのくじら館)



海上自衛隊で使用されていた潜水艦「あきしお」を屋外展示しています。潜水艦内部を見学、体感できるほか、さまざまな資料を展示しています。隣の大和ミュージアムとセットでの見学がおすすめです。大和ミュージアム休館中は、この「てつのくじら館」と「大和ミュージアムサテライト」にお越しください。



大和ミュージアム



蔵本通りの屋台

夜になると通り一帯に屋台が並び、赤い提灯がまちの景観に彩りを添えてくれます。人情味あふれる屋台は、ラーメンやおでんといった定番メニューから創作料理まで様々なジャンルの料理が並び、観光客だけでなく、市民の憩いの場となっています。



呉連艦船めぐり (夕呉クルーズ)

呉中央桟橋を出港すると、造船所で建造される大型船、海上自衛隊の艦艇や潜水艦を至近距離で見学することができます。2階のオープンデッキではガイドによる興味深い説明を聞くことができます。また、1日の最終便は「特別便」として「夕呉(ゆうくれ)クルーズ」を運航しています。日の入り時刻にあわせて毎日行われており、ラッパの吹奏とともに海上自衛隊の艦船から自衛艦旗が降下される儀式を間近に見ることができます。日常では体験できない特別なクルーズを、ぜひお楽しみください。

呉鎮守府や呉海軍工廠があった呉は、終戦後の昭和29年から海上自衛隊呉地方隊の司令部が置かれています。海上自衛隊では毎週金曜日の昼食をカレーにしている部隊が多く、長期航海中에서도曜日の感覚を忘れないようにするためだといわれています。それぞれの艦艇等で食べられているカレーを呉市内の飲食店で食べられるよう、海上自衛隊の調理員から直接レシピを教わって忠実に再現したのが「呉海自カレー」です。護衛艦や潜水艦などで食べられているカレーを色々食べてみたいですね。しとれカレーを販売中。

呉海自カレー



呉海軍グミメ (肉じゃが)

呉海軍グルメは、呉鎮守府の艦船で提供されていた料理や旧日本海軍に伝わるレシピをもとに作られた、海軍ゆかりの料理です。長い航海の賜、乗組員たちの健康を守るために考案された“健康食”ともいえるもので、美味しさや栄養バランスが考えられています。東郷平八郎も食べたと言われる「肉じゃが」や、西洋食を取り入れたオムライス、千キンライス、ロールキャベツなどのレシピが再現され、市内の飲食店で提供されています。



もっとくし

呉産牡蠣



広島湾に面し、瀬戸内海の島々を擁する呉市は、広島県内でも主要な牡蠣の名産地です。呉市内の音戸、倉橋、安福などに約 50 ～ 60 の牡蠣生産者があり、全国屈指のカキ生産量を誇っています。牡蠣の生育に最適な条件の漁場で、長年の経験と創意工夫で丁寧に育てた呉産牡蠣は、ぶいっとした身にうま味と栄養がたっぷり含まれています。

カキ食べマウス



明治以降、呉には海軍の拠点として呉鎮守府が、艦船などを作る工場として呉海軍工廠が置かれ、人口も 40 万人いたといわれます。港町で働く人々はとても忙しく、早く食べられるうどんが喜ばれました。そこで、さらに煮早く提供するために麺を細く切って、出汁を絡みやあくした細うどんが人気を博しました。戦後もそれが定番となり、呉でうどんといえば「細うどん」のことを指すようになりました。熱々の出汁がたっぷり絡んだ呉の細うどんをぜひ食べてみてください。



細うどん

鶏皮のみそ煮



呉の焼き鳥屋には生け簀があるお店が多く、美味しい焼き鳥と瀬戸内海でとれた新鮮な魚介類を楽しむことができます。そんな焼き鳥屋で地元の人が必ずと言っていいほど注文するメニューが「鶏皮のみそ煮」です。

お店に入ると、「はいあえおビールと鶏皮のみそ煮」と注文するのが定番。お店ごとに違う秘伝の味噌ダシでじっくり煮込まれた鶏皮はプルプルで柔らかく、呉のソウルフードになっています。

呉冷麺は、1955 年頃に誕生しました。その頃呉市中通で屋台を出していたラーメン店が、ラーメンの注文が減る夏場の看板メニューとして考案した冷麺が発祥といわれています。

コシのある平打ち麺に、鶏がらスープベースのピリ辛で甘酸っぱい出汁がよく絡み、キウイリやチャーシュー、ゆで卵、エビなどのトッピングで頂きます。好みに応じて酢をかけて食べるのもおすすめです。

呉市民のソウルフードとして愛されています。



呉冷麺

呉焼き



広島県内で一般的に食べられているお好み焼きは、丸く薄く延ばした生地の上にそばなどの麺、千切りのキャベツ、肉、卵などを乗せて焼きます。その中でも呉のお好み焼き「呉焼き」は、一般的な円形ではなく二つに重ねて半円形にするのが最大の特徴。そしてそばの代わりに呉名物の細うどんを使います。定番のトッピングは豚肉と卵の「豚玉うどん」ですが、呉産牡蠣を乗せて熱々をふーふー言いながら食べるのもおすすめです。

温暖な倉橋島で栽培される「お宝トマト」は、糖度 6.5 以上の甘みと酸味のバランスが絶妙です。樹に成った状態で完熟させる樹上完熟を行っているので、濃厚な風味が楽しめます。水はけのよい真砂土という恵まれた土壌を生かし、自作の有機ぼかし肥料を施して低農薬栽培を行っています。また、水を控えることで実のしまりがよいトマトにしています。おすすめの食べ方は、みずみずしさを味わえる生食が一番。サラダ以外にもバスタに軽くまぜるといっそう美味しくなります。



お宝トマト

大長しそ



大崎下島・豊町は国産しそ発祥の地。大長地区で、みかんよりも歴史が古い 100 年以上前から栽培されています。温暖小雨の気候がしその栽培に適しており、風を嫌うしそを守るために風の影響を受けない畑で、さらに防風林を設置するなど大切に育てられています。農薬も最小限しか使わない低農薬栽培です。太陽の恵みを浴びて育った香り高い酸味と果汁をぜひ味わってください。



呉市では各地で秋のお祭り（例祭）が開催されます。
地域ごとに特徴あるヤブが町内を練り歩きます。
その迫力は圧巻です！



ヤブって？

呉の秋祭りは9月下旬から11月上旬まで毎週末、どこかの神社で行われ、神輿と囃子の行列と一緒に、神の使いと言われているヤブ『鬼』が出現します。鬼のことをヤブと呼んでいる地域は呉だけ。祭にヤブが誕生した理由はまだはっきりとされていませんが、呉独自に発展した文化と言えます。

こわいっお面

お面は一つ一つ顔の表情が違います。口の開き方によって、ヤブのオスとメスがわかれていた地域もあるそうです。また、一番・二番・三番と順位がついているところもあります。赤い顔の面だけでなく、黒や黄色、白色の面もあります。面を彫る人が市内にはたくさんいるそうです。



一番ヤブは30kgの荒縄を背中に背負う

個性的な衣装



ヤブの衣装は各神社・自治会によって違います。黄色に黒の亀甲模様が多く見られますが、横しま虎柄のような地域もあります。共通しているのは、竹の棒を持って歩いていること。ヤブはこの竹を地面に強く叩き付けるので、バンバンと竹の音が町中に響きます。近くでこの音が聞こえてくると、子供達はこわいヤブから離れるために逃げ回ります。

記事「ヤブ女」作成 神社ヤブまっぶより転載

お祭りスイーツ



いが餅

呉市内の秋祭りで食べるお菓子で、発祥は明治時代まで遡るといわれます。もち米や米の粉で作った皮で小豆のあんを包み、色づけした米粒を乗せて蒸しあげます。いが餅の「いが」は「とげ」のことで、まぶした米粒がとげのように見えることからこの名が付けました。呉地方では秋が近づくと「祭りを待つのか、いが餅を待つのか」といわれるほどの人気で、菓子店やスーパー、祭りの屋台などあちこちで販売され、屋台では蒸したてを食べることができます。

行列ができる「福住つライケーキ」は、呉のローカルスイーツの定番！！
昭和22年創業の福住（ふくすみ）のつライケーキはテレビでもよく紹介されています。
地元の人から愛され続け、今なお行列ができることもしばしば。
つライケーキは店内で揚げたおり、揚げたてのつライケーキを食べることができます。
冷めてもおいしいつライケーキを食べながら、お祭りを楽しめのもいいですよ！！

つライケーキ



MEMO



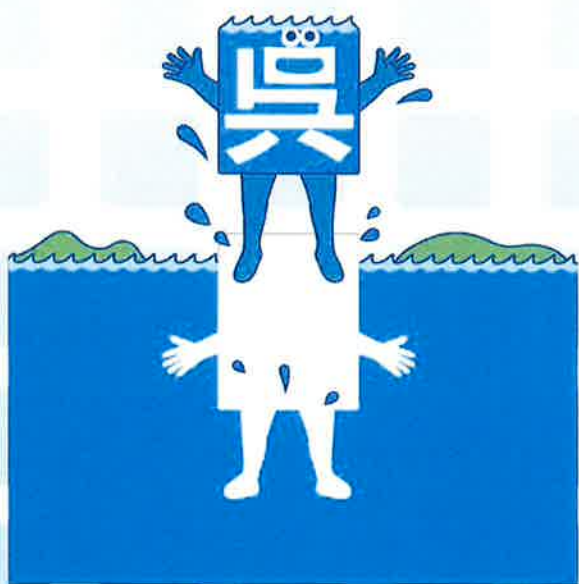
実行委員会名簿

令和7年度広島県高等学校PTA連合会 広島県大会 呉地区実行委員会名簿

実行委員長	池田 寿生 呉工業高校 総務部会
副実行委員長	石地 勝敏 呉商業高校
統括・会計 【呉商業高校】	土居 由人（呉地区連合会会長） 川崎 孝志 川村 千代美（呉商業事務長） 森川 貴博
相談役	北村 正次・高江 一成・清原 秀樹・向井 伸介

総務部会	接待部会		アトラクション部会	
【呉工業高校】 柳 生 健 太 平 井 政 信 多 田 美 樹 【呉三津田高校】 高 橋 理 歌 益 成 尚 志 有 場 定 光 長 尾 マ リ	【清水ヶ丘高校】 藤 脇 真 美 藤 本 拓 哉 面 麻 葵 吉 住 秀 美 来 島 智恵子 楠 本 康 之 【市立呉高校】 山 本 浩 司 松 枝 亜 希 片 川 巧 高 路 紗 苗 本 園 里 美 小 田 原 香 織 小 野 有 希 志 垣 由紀恵 岡 田 亜希子 小 倉 千 裕 國 實 陵 大瀬良 由 美	【広高校】 西 本 剛 松 村 真 理 小 河 静 治 細 川 直 美 江 刺 裕珠子 増 本 美 樹 志 千 佳 辻 あさ子 廣 本 美 幸 上 藤 勝 典 【大柿高校】 川 寄 隆 史 山 本 大 介 山 奥 恵 高 橋 裕 美 橋 本 勇 二 水 野 嘉 美 勝 又 阿利紗 加 藤 智 子 山 下 裕 美 石 本 知 里	【呉宮原高校】 長 岡 正 信 細 谷 佳 子 大 下 美 穂 木 田 明 史 爲 敷 京 美 上 田 文 子 梶 田 政 美 中 川 博 文 浅 井 幸 荻 康 弘 三 宮 智 大 月 一 代 三 宮 小 春 【呉港高校】 西 紋 朋 子 沖 元 知 花 錦 織 武 美 部 谷 友 重 柞 磨 律 子 辻 美 枝 子 黒 崎 ま や	【呉青山高校】 大 隅 千 夏 山之内 亜衣子 中 村 直 子 切 川 徹 哉 瀬 野 浩 一 山 本 桃 子 養 老 舞 子 平 岡 めぐみ 石 根 綾 上 寺 有希子 【武田高校】 岡 本 妙 子 宇都宮 愛 吉 原 吉 美 河 本 真 弓 藤 田 学 金 子 聡 美 大 村 裕 美 渡 部 義 之 松 本 明 彦
広報記録部会 【音戸高校】 大 下 公 一 宮 原 健 一 平 川 由 美 【市立呉高校】 濱 咲 舞 森 岡 奈緒美 【呉南特支援】 松 岡 絵 美 三 浦 憲 一 川 野 弘 宣 【呉特支援】 天 野 美 鈴 山 根 彰 江 中 山 美 帆				

MEMO



司会紹介



『モリクミ』こと 森本久美子さん

呉三津田高校出身

大学卒業後から満点ママに出演し
旅コーナーを担当。
その中で約19年間は県内各地を
ぶらぶら旅するふれあい旅をお届けしています

TVレポーターをはじめナレーショ
ン 司会などで活動中



MEMO

待っとるよ



MEMO



またいつでも呉に来てクレ!



<https://www.hiroshima-koup.org/>



広島県高P連